

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第151号（4. 6. 13） 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合中止の働きかけを求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 公立病院経営強化プランに基づいて済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合をやめるよう働きかけること。 2. 地域医療構想からみて、他の病院の急性期病床の削減につながる病院の統合をやめるよう働きかけること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市北区 浜 本 宏</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2022年6月
神戸市会議長

神戸市北区

浜本 宏

電話番号

済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合を止めるよう求める陳情

陳情趣旨

3月29日に総務省から「公立病院経営強化ガイドライン」が出されました。

新しいガイドラインでは公立病院の「再編・統合」の言葉がなくなり、「機能分化・連携強化」を求めています。国会でも、総務大臣は「各自治体において地域に必要な病院を存続させることができるよう支援する」と答弁されています。国はこれまでの病院統合再編の流れから必要な病院は存続させるという流れに方針を転換したことは明らかです。

国の方針の転換を踏まえると、三田市民病院と済生会兵庫県病院の統合がいかに時代に逆行しているか一目瞭然です。

三田市民病院は、この経営強化ガイドラインに基づいて今後「経営強化プラン」をつくることとなります。新しい経営強化プランを踏まえて、病院の統合は止めるべきです。

また、地域医療構想では神戸圏域の急性期の病床は過剰です。統合病院が神戸市内にできれば、過剰となっている神戸の急性期の病床がさらに増えることとなり、その結果、他の病院の急性期病床を減らすことにつながるのではないのでしょうか？

この間、民間病院の病床削減が問題となってきました。

さらなる病床削減につながる病院の統合は止めるべきです。

陳情項目

- 1、公立病院経営強化プランに基づいて済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合は止めることよう働きかけること
- 2、地域医療構想からみて、他の病院の急性期病床の削減につながる病院の統合は止めることよう働きかけること